

日本でもイスラーム社会でも「医」はしばしば男性の領分とされる。しかし、楠本イネや荻野吟子以前の江戸時代にすでに女性医師が活躍していた。近代になると、さまざまな女性医療者が登場する。女性医療従事者の比較を通じて、「医」のジェンダー史を問いかける。



プログラム

●10時30分～11時45分

報告① 鈴木則子（奈良女子大学）

「江戸時代の女性医師と婦人医療～近代日本医療環境の前提として」

11時45分～12時45分 昼食（60分）

*昼食は、各自ご用意ください。

●12時45分～14時

報告② 永藤欣久（東洋学園大学 東洋学園史料室）

「近代日本における女性歯科医師の養成 —旧制東洋女子歯科医学専門学校の事例を通じて—」

●14時～15時15分

報告③ 阿部奈緒美（奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター協力研究員）

「明治から昭和初期における大阪の産婆団体史 —団体運営の自律性と男性医師との関わりに着目して—」

15時15分～15時30分 休憩（15分）

●15時30分～16時45分

報告④ 細谷幸子（国際医療福祉大学）

「イラン・イスラーム共和国における女性看護師」

●16時45分～17時30分 総合討論

2019年
7月7日（日）

於：東京大学
東洋文化研究所
大会議室（3F）

《アクセス》

本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線・
地下鉄丸の内線）から徒歩5～6分

東京大学本郷キャンパス
東洋文化研究所
（懷徳門を入ってすぐ）

公開シンポジウム（参加費無料）

ジェンダー史から考える
女性医療従事者

主催：比較ジェンダー史研究会（科研費基盤研究（A）「科学研究費基盤研究（A）「ジェンダー視点に立つ『新しい世界史』の構想と『市民教養』としての構築・発信」（研究代表者：三成美保（奈良女子大学））
イスラームジェンダー科学研究会（科研費基盤研究（A）「イスラーム・ジェンダー学構築のための基礎的総合的研究」（研究代表者：長沢栄治（東京外国語大学））
問い合わせ先：イスラーム・ジェンダー科研事務局 <islam_gender@ioc.u-tokyo.ac.jp>（*を@に変えてご使用ください）